

【平成23年度】

「緊急地震速報を利用した 避難訓練の取組」

～熊谷地方気象台と埼玉県教育委員会の連携～



熊谷地方気象台
熊谷市教育委員会
埼玉県教育委員会



はじめに

平成 23 年 3 月 11 日に、未曾有の巨大地震により甚大な被害が発生し、私たちは、改めて地震災害の恐ろしさを目の当たりにしたところです。大地震により、お亡くなりになった方々に、心からの哀悼の意を捧げるとともに、この災害からの教訓を今後どのように安全教育につなげていくかが、われわれの使命だと感じております。

さて、埼玉県教育委員会は、震災後の平成 23 年度に、安全教育の大きな柱として、「学校防災マニュアルの改訂」「緊急地震速報を利用した避難訓練の普及啓発」の 2 つを掲げ、全力を挙げて取り組んでまいりました。

お陰様をもちまして、改訂いたしました「学校防災マニュアル」につきましては 9 月上旬に改訂版をホームページに掲載いたしました。学校をはじめとする多くの方面の皆様から、参考にして活用したいとの声が寄せられました。

また、2 つ目の柱である「緊急地震速報を利用した避難訓練の普及啓発」については、熊谷地方气象台と連携を図り、熊谷市教育委員会の協力を得て、平成 23 年 2 月 17 日に熊谷市立妻沼小学校において、緊急地震速報を利用した避難訓練を実施しました。後に大地震が発生しましたが、訓練を経験した児童は、その際も、パニックに陥ることもなくスムーズに避難することができました。

このことから、緊急地震速報を利用した避難訓練の実施は、学校における安心・安全を確保する上で大変有効な取組であると確信し、熊谷市をモデル地区として熊谷地方气象台との連携を一層強化し、その成果を全県に普及啓発してまいりました。結果として、県内の 698 校の小・中・高・特別支援学校で実施をしていただくこととなりました。

今こそ、児童生徒の「指示待ちからの脱却」を目指し、「危険を予測し、回避する能力」を育成することが必要だと捉えております。

各学校におかれましては、「3・11での教訓を忘れない」という思いを更に強固なものとし、従来の避難訓練を一新する訓練の在り方の参考として、積極的に御活用いただくようお願いいたします。

結びに、本「緊急地震速報を利用した避難訓練の取組」の作成に当たり、御尽力いただきました関係の皆様方に心から感謝申し上げます。

平成 24 年 1 月

埼玉県教育局県立学校部保健体育課長 久保 正美

自発的な危機回避行動定着をめざして

気象台や気象庁は情報発表にあたって、分かりやすく伝えることに努めています。皆さまにその内容をご理解いただいて、的確な対応を取っていただくことによって初めて、防災の実際の効果が上がります。このため、気象や地震等の防災に係る知識の普及を重要な仕事のひとつとして掲げています。

防災教育は、児童生徒の日々の安全に直接役立つとともに、保護者の安心のために重要なテーマのひとつと考えています。また成長期に防災意識を根付かせることができれば、将来の国民全般の防災思想の向上に資する効果が期待できますので、社会的に非常に重要なことと考えています。

今般、埼玉県教育委員会との連携により、熊谷市域をモデル地域として緊急地震速報を利用した避難訓練の取組を進めることができました。この訓練の勘所は、わずかな先行時間の中で児童生徒の「自発的な危険回避行動」を目指す点にあります。3.11の東日本大震災では多くの方が亡くなりました。改めて哀悼の意を表しつつその原因をみると、津波の犠牲になられた方の割合が非常に多くなっていることが分かります。全国的には、まずは地震の危険回避行動、次に津波から身を守るための行動へと繋ぐことが重要事項です。埼玉県は海に面していませんが、将来臨海地域に住む可能性も考え、高校等では津波に関する知識の普及も図る必要があります。

モデル校の小・中・高校では、学習内容に即した説明にすべく、教職員と気象台職員の意見交換を行いました。保護者や地域の方の参加がある時には、大人向けの簡単な説明も加えるように配慮しました。特別支援学校における訓練では、児童生徒の各々の状況をふまえた対応の必要性について、当気象台職員も認識を新たにしました。

しかし学校数に対して気象台職員数は少数であり、訓練へ関与できる実数は限られる状況にあります。このため、本書にまとめました訓練例から各学校の実状に近いものを教職員の皆さまに参考にしていただくことによって、防災教育の普及が少しでも進むことを願ってやみません。

平成24年1月

熊谷地方気象台長 齊藤 清

目 次

I 総論

- 1 「緊急地震速報」と「緊急地震速報を利用した避難訓練」・・・ 1
 - (1) 「緊急地震速報」について
 - (2) 「緊急地震速報を利用した避難訓練」について
 - (3) 緊急地震速報における「高度利用」と「一般利用」(テレビ・ラジオによる速報)の違いについて

II モデル地区(熊谷市)の取組

- 1 訓練実施状況 4
- 2 避難訓練の事前学習 5
- 3 各学校での取組例 8
- 4 緊急地震速報を利用した「ショート訓練」..... 49

III 参考資料

- 参考資料：1 埼玉県報道発表資料.....51
- 参考資料：2 「東日本大震災を受けた防災教育・防災管理等に関する有識者会議」中間とりまとめ52
- 参考資料：3 熊谷地方気象台ホームページ.....58
- 参考資料：4 関連県通知等.....59
- 参考資料：5 県教委だより.....63
- 参考資料：6 地域と連携した避難訓練の取組例.....64



I 総論

1 「緊急地震速報」と「緊急地震速報を利用した避難訓練」

- (1) 「緊急地震速報」について
- (2) 「緊急地震速報を利用した避難訓練」について
- (3) 「緊急地震速報における「高度利用」と「一般利用」(テレビ・ラジオによる速報)の違いについて

I 総論

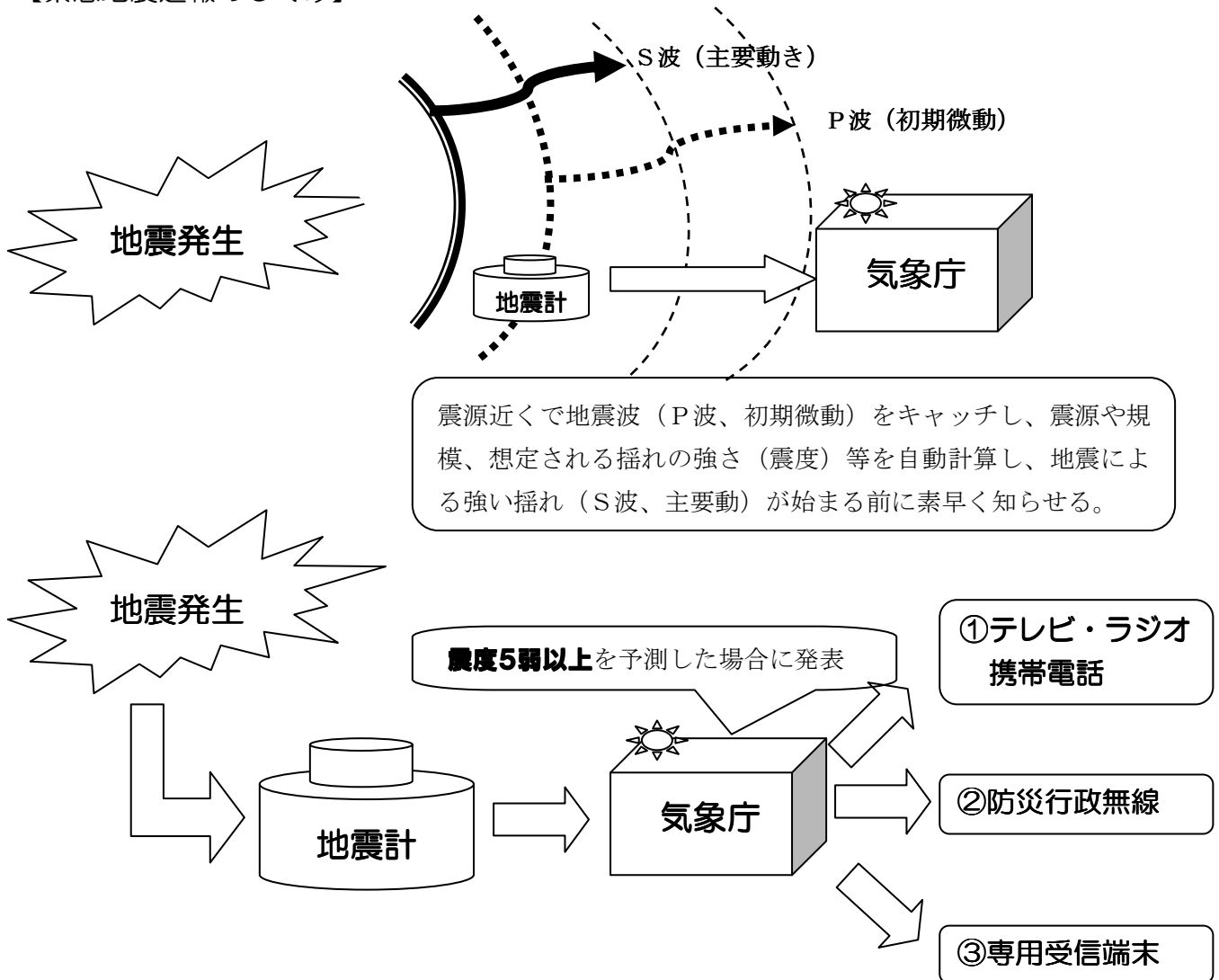
1 「緊急地震速報」と「緊急地震速報を利用した避難訓練」

(1) 「緊急地震速報」について

緊急地震速報は地震の発生直後に、震源に近い地震計で捉えた観測データを解析して震源や地震の規模（マグニチュード）を直ちに推定し、これに基づいて各地での主要動の到達時刻や震度を予測し、可能な限り素早く知らせる地震動の予報・警報である。

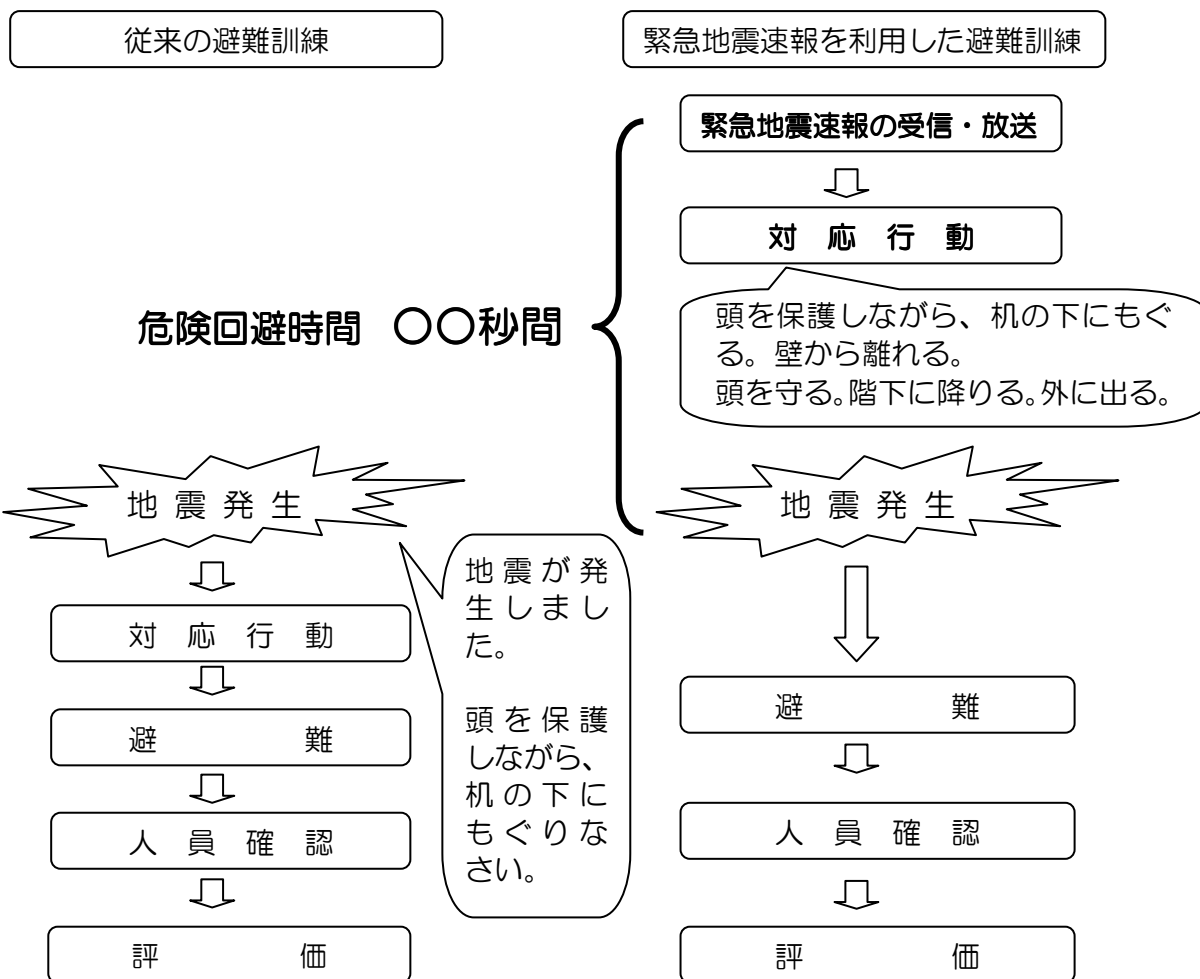
これにより、地震の強い揺れが到着するよりも早く、これから大きな揺れが来ることを知ることができる。

【緊急地震速報のしくみ】



- ① テレビ・ラジオ・携帯電話に、**震度5弱以上**を予測した場合に、緊急地震速報（警報）を発表
- ② 防災行政無線により、準備の整った放送局や市町村（全国瞬時警報システムJ-ALERT）から放送が開始
- ③ 専用受信端末などでは、気象庁が発表する警報や予報のほか、独自に個別地点の震度を予測し報知

(2) 緊急地震速報を利用した避難訓練について



【緊急地震速報を利用した避難訓練の目的】

従来の避難訓練は地震が発生した後に、「机の下にもぐりなさい」と指示をしてから児童生徒が対応し、その後「揺れがおさまりました」の放送を聞いて校庭に避難する内容が一般的であった。

しかし、この訓練では、児童生徒の主体性を育てたりすることにはつながらない。

そこで、緊急地震速報を利用した避難訓練の積み重ねから、**地震が来る前の数秒間に何が出来るかを子どもの時から身につけさせ、災害時に臨機応変に対応できる児童生徒を育成**することが目的である。

【緊急地震速報の技術的限界の理解】

- ・特に大規模な地震に対しての推定精度の限界
- ・地下の断層の破壊の途中に速報を発表（断層の大きさと位置が未確定）
- ・複数の地震が時間的・空間的に近接して発生した場合地震を適切に分離できず、的確な速報を発表できないことがある。

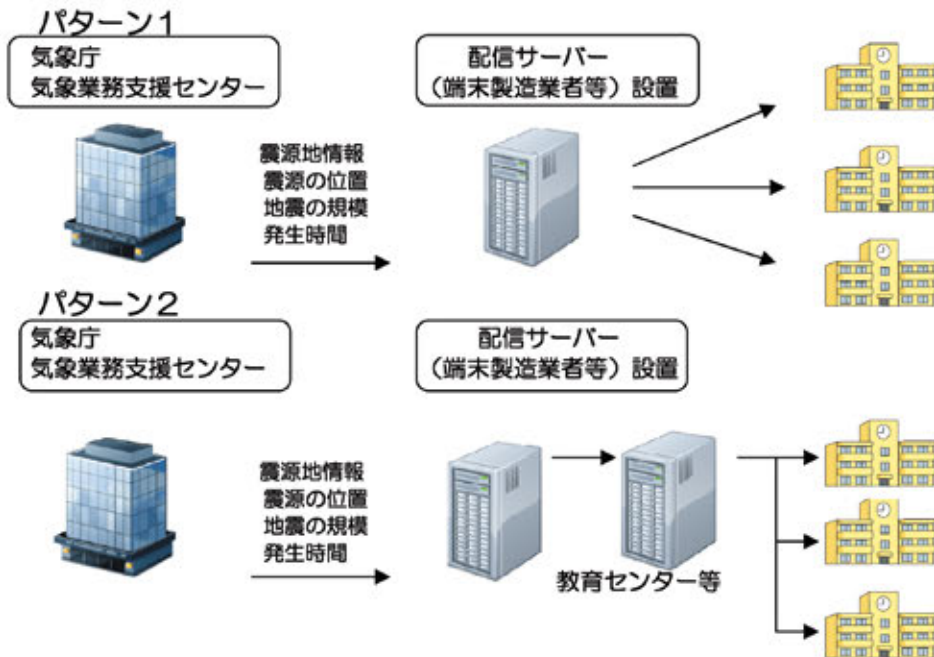


(3) 緊急地震速報における「高度利用」と「一般利用」(テレビ、ラジオによる速報)の違いについて

情報源 (気象庁)	高度利用者向け緊急地震速報	一般利用者向け緊急地震速報
速報震度基準	受信機の設定による	震度 5 弱以上 (設定不可能)
到達時間速報	あり (秒単位で表示)	なし
配信回線使用料	ランニングコストあり	なし
データ配信料	必要	なし
その他	ピンポイントで震度表示が可能	全国を 200 か所に区切ってその地域での揺れを表示

○ 高度利用型緊急地震速報受信端末の利用イメージについて

高度利用型とされる受信端末への配信形態は、端末の製造業者により異なるが、主に下記の2種類に分類される。



Ⅱ モデル地区の取組

- 1 訓練実施状況
- 2 避難訓練の事前学習
- 3 各学校での取組例
- 4 緊急地震速報を利用した「ショート訓練」

1 訓練実施状況

学校名	校長名	訓練実施日	事前指導	訓練内容		
				緊急地震速報		付加訓練 保護者等啓発
				放送時間	時間指定	
熊谷市立成田小学校	福島 裕	6月 1日(水)	5月23日(月)	授業中	指定	・火災訓練 ・引渡し ・保護者説明
〃 江南北小学校	島村 明義	6月 3日(金)	5月24日(火)	授業中	指定	・火災訓練 ・引渡し ・停電時想定 ・保護者研修会
〃 籠原小学校	北島 寿和	6月17日(金)	6月15日(水)	授業中	指定	・停電時想定 ・起震車体験 ・自治会見学
〃 江南中学校	大河原 宏	7月13日(水)	7月 7日(木)	授業中	なし	・火災訓練 ・自治会見学
〃 吉見小学校	小林 正俊	8月31日(水)	7月12日(火)	授業中	なし	・火災訓練 ・引渡し ・保護者学習会 ・自治会見学
〃 妻沼東中学校	原口 政明	9月 9日(金)	9月 7日(水)	授業中	指定	・自治会見学
〃 三尻中学校	土田 稔	9月21日(水)	8月19日(金)	授業中	指定	
〃 奈良中学校	松本 文利	9月29日(木)	7月 4日(月)	授業中	指定	・火災訓練 ・引渡し ・起震車体験 ・保護者研修会
〃 妻沼南小学校	関口 輝男	9月30日(金)	6月22日(水)	休み時間	なし	・火災訓練 ・休み時間実施
県立熊谷女子高等学校	廣川 貞夫	7月20日(水)	7月20日(水)	授業中	指定	



2 避難訓練の事前学習

(1) 概要

緊急地震速報を利用した避難訓練を実施する児童生徒（教職員）に対して、緊急地震速報に関する正しい知識の普及と、緊急地震速報の報知音を見聞きした際の退避行動について事前に学習し、学校全体の防災意識の向上と避難訓練の充実を図る。

モデル地域熊谷市では、熊谷地方気象台が全ての学校でゲストティーチャーを担当したが、学校教職員が事前学習できるような内容とし、必要な教材を気象台ホームページからダウンロードして利用できる環境を整えている。

(2) 学習対象

小学生、中学生

(3) 基本的な学習のながれ

コンテンツ【目安の時間】	概要（※質問形式で実施）
(1) 本日の学習について 【10分】	<ul style="list-style-type: none"> ○東北地方太平洋沖地震を振り返る ○児童生徒が体験した地震の揺れを振り返る ○過去の地震について説明し、理解を深める ○緊急地震速報の仕組みを理解させる ○ビデオを見る際の3つのポイントを示す
(2) ビデオによる学習 【10分】 ※教材1	<ul style="list-style-type: none"> ○ビデオを見せる ・NHK チャイム音の場面でコメントする
(3) ポイントの復習 【7分】	<ul style="list-style-type: none"> ○緊急地震速報のチャイム音を再確認する ○どんな場所でチャイム音を見聞きするのか確認する ○チャイム音を見聞きした場合の行動を確認する ○チャイム音を見聞せず揺れた場合の行動を確認する ○緊急地震速報の技術的な限界を説明する
(5) 本日の学習のまとめ 【3分】	<ul style="list-style-type: none"> ○緊急地震速報のチャイム音を使用した訓練を説明する ○「お・か・し・も・ち」を確認する ○プリントを利用した復習をすることについて ○学習したことを家族に伝えることについて
所要時間：約30分	(事前学習終了後、教室に戻って事後指導する)
(6) 事後指導 【授業時間】 ※教材2	<ul style="list-style-type: none"> ○本日の学習についての復習を行う ○実施予定の避難訓練を説明する ○家族で話し合うことについて

(4) 使用教材・・・<http://www.jma-net.go.jp/kumagaya/education/index2.html>

※教材1

気象庁広報用DVD「その時、あなたはどうする！（緊急地震速報の仕組みと心得）」

※教材2

リーフレット「緊急地震速報って知ってる！？（絵・クレヨンしんちゃん）」

(5) 補助教材・・・<http://www.jma-net.go.jp/kumagaya/education/illustration/index.html>

学校内でいつ地震が発生しても、児童生徒が自らの判断で退避行動がとれるよう、校内での退避行動例を描いたイラストを必要な場所に掲示し意識させる。

「事前学習用資料」

学習対象：小学生～中学性 *※斜体文字は小学高学年～中学生向け*

所要時間：約 30 分

○印：児童生徒への問いかけ

(1) 本日の学習について 【約 10 分】

- ・ 3 月 11 日 14 時 46 分、平成 23 年東北地方太平洋沖地震が発生しました。
- ・ 地震によって発生した大津波により死者・行方不明が約 2 万人、東北地方と関東地方の太平洋沿岸部に壊滅的な被害をもたらしました。
- ・ この地震は、日本における観測史上最大のマグニチュード 9.0 を記録し、世界でも 4 番目に大きな地震でした。

○熊谷市ではどのくらいの震度だったのか知っていますか？

- ・ 熊谷市では「震度 5 強」の揺れを観測しました。
- ・ 震度 5 強の揺れとは、大半の人が恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる地震です。棚にある食器類や本が落ちたりする強い揺れです。それに、長い時間強い揺れが続いたのも特徴でした。
- ・ ここ熊谷市は地震の揺れを感じる事が少ない地域です。今回の地震のような震度 5 以上の強い揺れを観測したのは、なんと過去 100 年の内、わずかに 2 回だけです。
- ・ 今から 80 年前(1931 年)に起きた西埼玉地震で、震度 5 の揺れを観測しています。
- ・ 先生やみなさんのお父さん・お母さん、おじいちゃん・おばあちゃんも、今回のような大きな地震を初めて体験し、すごく怖かったと思います。

○震度のお話をしましたが、一番強い揺れは震度いくつ知っていますか？

- ・ 最大の震度は「7」です。(震度 0～7 で 10 階級ある)
- ・ 「震度」と「マグニチュード」の違いを知っていますか？
- ・ マグニチュードは、発生した地震の規模を表しています。震度は、地震が発生した場所(震源)から伝わってきた揺れの強さになります。

- ・ さて、地震が起きた時「あれ？地震かな？」と思うカタカタした揺れを「P 波」と呼び、そのあとすぐにグラグラと強く揺れるのが「S 波」と呼びます。
- ・ この強く揺れる「S 波」によって、家具が倒れたり建物にひびが入るなどの被害が発生します。
- ・ 緊急地震速報は、「P 波」を利用し、強い揺れ「S 波」がくることを可能な限り早く知らせてくれるシステムです。

○緊急地震速報のチャイム音を知ってる人はどのくらいいますか？

- ・ 3 月 11 日の地震発生後、テレビやラジオで緊急地震速報のチャイム音が頻りに流れたり、携帯電話からも聞き慣れない音が鳴ったので、聞いたことある人が多いと思います。
- ・ 来週の避難訓練では、テレビで流れる緊急地震速報のチャイム音を使った訓練を初めて行います。訓練を行うために、これから緊急地震速報についてビデオを見て学習します。
- ・ ビデオを見る時、3 つのキーワードを探して下さい。
 - 一つ目は、緊急地震速報のチャイム音は？ どんな仕組みで発表されるのか。
 - 二つ目は、どんな場所で緊急地震速報を見たり、聞いたりするのか？
 - 三つ目は、緊急地震速報を見たり聞いたりしたとき、どんな行動をしたらいいのか？
- ・ ビデオをよく見て探してみてください。

(2) ビデオ上映 【約 10 分】

「その時、あなたは どうする！ (緊急地震速報の仕組みと心得)」

(3) 緊急地震速報についての復習 【約7分】

- ・ 3つのキーワード確認できましたか？
- ・ 緊急地震速報のチャイム音は、ティロン～ティロンです。
- ・ 緊急地震速報は、地震によって発生した弱い揺れ「P波」をキャッチし、震度5弱以上の強い揺れの地震を予測したとき、震度4以上の揺れを感じる地域に発表されます。
- ・ 埼玉県では天気予報と同じ埼玉県北部、南部、秩父地方に発表します。
- ・ 緊急地震速報のチャイム音をどんな場所で見たり聞いたりするのでしょうか？
- ・ 学校ではまだ緊急地震速報が流れませんが、テレビやラジオ、携帯電話などどれも身近にあるもので見聞きできます。
- ・ 緊急地震速報のチャイム音を聞いてから強い揺れ「S波」がくるまでの時間は、たった数秒～数十秒だけしかありません。
- ・ あれもこれもする時間はありません。大切なのは「周囲の状況に応じて、あわてずに、まず身の安全を確保する」これが合い言葉です。
- ・ 緊急地震速報のチャイム音を聞いた時、どんな対応をとればいいのか復習します。
- ・ 教室にいたら、あわてずに机の下に隠れ、頭をかかえ保護しましょう。机が倒れそうになったら脚を持って自分の身を守ります。
- ・ 教室の外にいたらどうでしょうか？落ちてこない、倒れてこない安全な場所を探して避難します。このため、学校でどの場所が危険なのか確認しておくことも必要ですね。
- ・ 学校の外ではどうでしょうか？デパートの場面でおばさんが慌てて逃げましたが、倒れたりするのでとても危険です。店員さんの指示をよく聞き避難することが大切です。
- ・ 学校の外には危険がいっぱいです。ブロック塀、看板、自動販売機など、強い揺れで倒れそうな物から離れ、揺れがおさまるまで頭を抱えてしゃがんで下さい。
- ・ 日頃からいざという時の行動を自分自身でよく考えておくことが重要です。
- ・ 緊急地震速報のチャイム音を聞かなくても、カタカタって揺れる「P波」を感じた時には、強い揺れ「S波」がすぐ来るんだなど、慌てずに身の安全を確保して下さい。
- ・ このような緊急地震速報ですが、チャイム音が鳴ってから100%大きな揺れ「S波」が来るとは限りません。緊急地震速報にはビデオでも説明していた技術的な限界があります。
- ・ 緊急地震速報を見聞きする前に、強い揺れが来ることもあります。
- ・ 緊急地震速報のチャイム音を聞いても、強い揺れが来ないこともあります。そんな時には、地震が来なくて良かったという気持ちを持って下さい。
- ・ 緊急地震速報は地震を予知する情報ではありませんので、チャイム音を聞いた時には大きな地震が日本のどこかで起き、避難しているお友達がいるかもしれないからです。

(4) 本日の学習のまとめ 【約3分】

- ・ 最後になります。今度の避難訓練では緊急地震速報のチャイム音を放送します。
- ・ 教室でチャイム音を聞いた時には、先生の指示がなくても、慌てずに、自分の判断で机の下にもぐりましょう。
- ・ 教室にいない時も同じです。周りの状況をよく見て、落ちてこない、倒れてこない安全な場所に慌てずに避難して下さい。いずれも、頭を守ることが重要です。
- ・ 揺れが収まったら先生の指示をよく聞き、「お・か・し・も・ち」のルールをしっかり守って避難して下さい。
- ・ このあと教室に戻り、先生からプリント(クレヨンしんちゃん)が配布されますので、もう一度、皆さんで緊急地震速報の復習をしましょう。
- ・ また、家に帰って家族の皆さんに、今日学習した緊急地震速報のことを伝えて下さい。そして地震が起きたときの避難の仕方など、話し合ってください。
- ・ 以上で今日の学習を終わります。

3 各学校での取組例

モデル事業①（熊谷市立成田小学校の例）

● 訓練実施日

平成23年6月1日(水)14時05分～

事前指導実施

● 訓練の特色

- ① 3月11日、東北地方太平洋沖地震発生後初めての訓練。
- ② 保護者への啓発、参加者の訓練見学。
- ③ 引渡し訓練

保護者啓発



引渡し訓練参加保護者への啓発

テレビ取材



新しい訓練の感想を話す児童

訓練の様子



第2回避難訓練・児童引渡し訓練計画

熊谷市立成田小学校

1 ねらい

- (1) 緊急地震速報を聞いた時に、落ち着いて素早く行動し、安全に避難ができるような方法を身につけさせる。
- (2) 災害時、速やかに、確実に児童を保護者に引き渡すことができるように、引渡しの方法を確認する。

2 訓練の想定

- (1) 緊急地震速報が発令。東京湾北部を震源とする大きな地震が発生し、熊谷地方には震度5強以上の揺れが発生した。
- (2) 地震の影響で、建物に被害が予想され、校舎外に避難の必要がある。

3 日時

- (1) 平成23年6月1日(水)

第5時授業	13時55分
避難訓練	14時05分
引渡し訓練	14時40分
- (2) 雨天の場合
 - ①避難訓練は、緊急地震速報を聞き、落ち着いて素早く行動する訓練のみを行い、校庭には避難しない。
 - ②保護者への引渡し訓練は、各教室にて行う。

4 避難経路・避難場所

通常の避難経路にて、避難場所B校庭へ

5 訓練の内容

児 童	教 師
14:05 1 緊急地震速報の放送を聞いて、机の下に体を隠す。教室外にいる場合、上からものが落ちてこない場所に移動し、体を低くする。 ・音が鳴ったらすぐに、出入り口を開ける。 ・机の両手で持たせる。 ・火の始末、コンセントを抜く。
地震発生後担任は、児童の安全、教室と教室近くの廊下の安全確認（①落下物②亀裂③頭上の安全）担任外は、校長の指示で階段、廊下のチェックを行う。 教頭は、校長に避難経路の安全について報告する。	
(第一校舎 鈴木・第二校舎 篠崎 保健室 横塚)	
緊急地震速報と地震発生の効果音の放送	
訓練、訓練。先生方は、児童の安全確認をお願いします。	
地震がおさまりました。児童の皆さんは、机の下から出てください。	
14:10 (安全確認次第、放送)
訓練、訓練。今後、大きな余震のおそれがありますので、校庭に避難してください。	
2 校庭に出るため廊下に並ぶ。 ・廊下に出て、2列に並ぶ。 ・上履きのままで避難する。 ・紅白帽をかぶる。 ・出席簿を持つ。 ・避難の方向は学年主任が判断の上、指示を出す。 ・全員が廊下に出たことを確認する。 ・一番最後の先生は、子どもたちの後ろにつく。

<p>3 屋内は順序よく、走らないで避難する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絶対に前の人を押したり、追い越したりしない。 ・先生の指示をしっかりと聞く。 ・校舎から離れて避難する。 <p>4 屋外に出たら、足早に歩いて、集合場所に行き、2列に並ぶ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の様子を見る。 ・「おかしもち」の約束の確認 ・避難が終わったかどうか確認する。 第一校舎（篠崎） 第二校舎（横塚） <p>・人数確認を最優先する。 担任→学年主任→教頭、校長（本部） ＜本部＞校長、教頭（計時）＜救護＞大谷 ＜全体観察＞鈴木</p>
<p>14:20</p> <p>5 指導講評を聞く。 司会 田中</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校長 ・气象台の方 	<ul style="list-style-type: none"> ・話をしっかり聞かせる。
<p>14:30</p> <p>6 教室へ荷物を取りに行く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>保護者に向けて、气象台の方の話</p> </div>	
<p>14:40</p> <p>引渡し訓練 説明</p> <p>(1) 荷物を持って、集合場所に2列に並ぶ。【保護者（引取り人）は、下の学年の児童から引取りを行う。】</p> <p>(2) 児童は引取り人と共に下校する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・担任は、保護者（引取り人）を確認して、名簿にチェックしながら児童を引渡す。

避難場所

プール

○カラーコーン

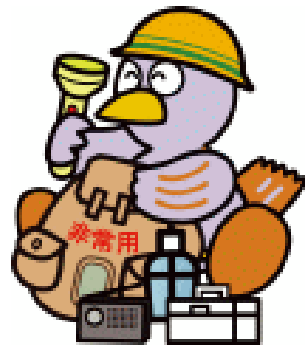
B校庭

本 部

5年
3年
1年
2年
4年
6年



引取り人
待機場所



モデル事業②（熊谷市立江南北小学校の例）

●訓練実施日

平成23年6月3日(金) 15時05分～

事前指導実施

●訓練の特色

- ① 停電を想定した避難誘導（半鐘、大型メガホン使用）
- ② PTA主催研修会、参加者の訓練見学
- ③ 引渡し訓練

避難行動



非常階段を利用した避難行動

指導講評



震災で屋根から落下した瓦を使用した指導

訓練の様子



(2) 展開

本 部	教 師	児 童
<p>1 緊急地震速報非常用鐘を打つ 「訓練 訓練 訓練 ただ今緊急地震速報あり。全員机の下に避難せよ。」</p>	<p>1 作業などをやめさせ、窓を開けるように指示する。 ○出入り口の確保 ○火の始末、コンセントを抜く。 ○出席簿を持つ</p>	<p>1 放送を正しく聞き、静かに教師の指示を待つ。 ○机の下などにもぐり、地震の揺れの収まるのを待つ（※机の脚をつかみ揺れによる移動を防ぐ。） ○落下物に気をつけ頭部を保護する。 ○次の指示を静かに待つ</p>
<p>2 避難状況を視察し、的確な情勢判断をする。 ○異常箇所等の確認 ※笛の音で確認 →（異常なし） 「揺れがおさまりました。第1経路を使い、すぐに避難してください」 （停電を想定し、乾電池対応のメガマイクにて放送） （※本部旗を目印として避難場所に出す） *ラジオの準備</p>	<p>2 児童を指示に従い校舎外に避難させる。 ○異常箇所等の確認・連絡 ※笛で連絡 ・異常なし…「ピッピッ」（短い笛2回） ・異常あり…「ピー」（長い笛の繰り返し） 「静かに早く廊下に並びなさい。」（名前の順2列・バディ活用） ○落下物ができるだけ少ないと思われるところに避難させる。（避難経路に従うとよい） ※各階の責任者は避難しながら残留児童の有無を確かめ、移動する。</p>	<p>2 廊下に並び、避難場所に避難する ○頭部を保護して並ぶ ・おさない ・かけない ・しゃべらない ・もどらない ・ちかづかない</p>
<p>3 避難状況の報告を受け安全の確認をする。</p>	<p>3 整列させ人数確認。 ○報告 （担任→学年主任→教頭→校長）</p>	<p>3 人員の点呼を受ける。 ○静かに腰を下ろして指示を待つ。</p>
<p>★ 家庭科室火災発生 ○携帯電話にて119番通報（教頭） ○消火班への連絡（山田） ● 鎮火</p>	<p>○消火班は消火器を持ち現場へ消火班…村越、小川、栗島、栗田、田村 ○消火班以外の担任は、児童の掌握 ●消火班は本部へ戻る</p>	<p>○教師の指示に従い、静かに待つ。</p>
<p>4 指導講評 ・校長 ・气象台より ・消防署より</p>	<p>4 児童への指導・観察</p>	<p>4 静かに話を聞く。</p>
<p>5 引渡し訓練開始</p>	<p>5 災害時引取り人名簿で確認しながら、保護者に児童を引渡す。</p>	<p>5 誰が引取り者ができるようにしておく。</p>
<p>6 保護者の来ない児童を学校で待機させる。</p>		

(3) 事後指導（避難の仕方の評価）教室で担任と児童とで行う

- 静かに指示が聞け、指示通りの行動がとれたか。
- あわてず、助け合って、安全に避難ができたか。
- 「おさない、かけない、しゃべらない、もどらない、ちかづかない」を実行できたか。
- 問題点をはっきりさせ、次回に生かそうとできたか。

(4) 各階責任者

北校舎1階（特支担任） 北校舎2階（1・2年担任） 北校舎3階（3・4・5・6年担任）
南校舎1階（杉田） 南校舎2階（柚木原） 管理棟保健室（茂木） 体育館（松本）
用務員室（加藤） ★家庭科室火災発生の連絡（柚木原）

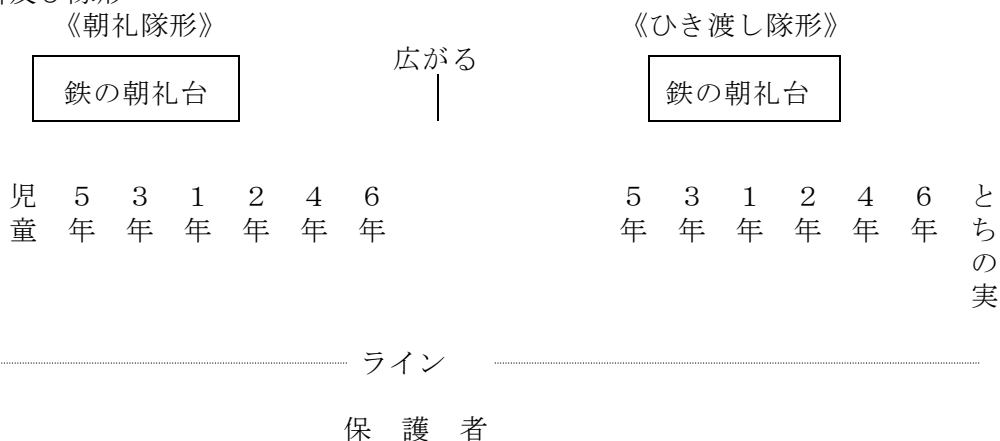
(5) 備考

- 訓練中のけがに注意する。（※連絡通路の渡り板に注意）
- 本部で、放送してから避難するまでの時間を計時して、指導講評の時に発表する。

6 係分担

- ・本部＝校長、教頭
- ・避難放送＝教頭
- ・全体観察＝松本
- ・計時＝山田
- ・救護＝茂木
- ・災害時引き取り人名簿持ち出し＝佐藤
- ・放送準備＝柚木原
- ・司会＝杉田

7 避難場所及び隊形



*避難は、そのまま下校できる支度で避難する。

- 1 ランドセル、荷物
- 2 通学帽子
- 3 上履き（引取り終了後に運動靴に履き替える）

8 その他

- ・児童には、当日までにDVD「その時、あなたはどうする！緊急地震速報」を視聴させ、避難について、予め指導をしておく。
- ・当日保護者には、「PTA防災研修会」を開催し、DVD「その時、あなたはどうする！緊急地震速報」を視聴と熊谷地方気象台職員、熊谷消防署職員より講話を予定。その後、校庭南側にて児童等の避難の様子を見学する。

モデル事業③（熊谷市立籠原小学校の例）

● 訓練実施日

平成23年6月17日(金) 14時05分～ ※雨天のため訓練縮小

事前指導実施

● 訓練の特色

- ① 停電を想定した避難誘導
- ② 起震車を利用した緊急地震速報体験
- ③ 地域防災組織の訓練見学

事前指導



チャイム音を聞いた時の退避行動の確認

地震体験



NHKチャイム音を利用した地震体験

訓練の様子



緊急地震速報による避難訓練計画

熊谷市立籠原小学校

1 目的

- 緊急地震速報について学習し、速報が出た際に自らの命を守るためにはどうすればよいかを考え、正しい退避行動の仕方を身につけさせる。
- 児童及び教師の防災意識の向上を図る。
- 地震時の避難の仕方について理解し、安全な行動がとれるようにする。
- 通報をよく聞き取り、安全に速やかに指示された場所へ避難することができるようにする。

2 日 時

平成23年6月17日（金）第1～5学年5校時、第6学年5、6校時

3 避難場所

校庭南ろくぼく前

4 事前指導（13:55～14:05）

災害時の危険・避難の仕方・避難経路の確認等

5 訓練・避難要領

（訓練の想定）

東京湾北部地震（マグニチュード7.3）最大震度は6強である。最大震度が6強となる市区町村は、南東部を中心に24市区町村となる。震度6強の領域は集中せず、地盤が揺れやすい箇所に散在する。校舎倒壊のおそれあり。校舎外への避難の必要あり。

（展開）

○活動 ・ 留意点

本 部	教 師	児 童
<p>1 【緊急地震速報と地震発生の効果音の放送】 (14:05～)</p> <p>『訓練、訓練、ただ今地震が発生しました。安全確認が終わるまで机の下にもぐっていなさい。』</p>	<p>1 緊急地震速報を聞いたら、</p> <ul style="list-style-type: none"> ○出入り口の確保 ○火の始末、コンセントを抜く ○児童の安全確保 ○教室内外の安全確保 	<p>1 緊急地震速報を聞いたら、</p> <ul style="list-style-type: none"> ○机の下などにもぐる。 ○地震の揺れの収まるのを待つ。（机の脚をつかみ揺れによる移動を防ぐ） ○落下物に気をつけ頭部を保護する。
地震による停電		
<p>2 被災状況を掌握する。 (14:07～)</p>	<p>2 被災状況を確認する。</p> <p>A棟1階・・・桑島 A棟2階・・・長島 A棟3階・・・定方 B・C棟1階・・・永野 B・C棟2階・・・木元、山田 B・C棟3階・・・吉川 D棟1階・・・下山 D棟2階・・・角田</p> <ul style="list-style-type: none"> ○報告手順に準じて報告する。 	<p>2 安全を確保する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○机の下などにもぐったまま静かに教師の指示を待つ。
<p>3 避難指示を出す。 (14:10～)</p> <p>『避難経路の確認ができました。第1経路を使い、すぐに避難しなさい。』</p> <ul style="list-style-type: none"> ○避難経路（別紙） <p>A棟1階・・・ A棟2階・・・</p>	<p>3 児童を指示に従い校舎外に避難させる。（学年主任）</p> <p>『静かに早く廊下に並びなさい。』</p> <ul style="list-style-type: none"> ○出席簿を持つ ○落下物が少ないところを通り避難させる。 	<p>3 廊下に並び、避難場所に避難する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○頭部を保護して並ぶ。 <ul style="list-style-type: none"> ・おさない ・かけない ・しゃべらない ・もどらない ・ちがつかない

【教室内外の安全確認方法】

○学級担任・・・児童、施設の安全確認、

- ・児童への落下物、飛来物によるケガの確認
- ・窓ガラス、テレビ、オルガン等の教室施設・備品の転倒・落下による被害

※異常の有無を確認し、学年主任に口頭で報告

○学年主任・・・児童、施設の安全確認、非常階段の安全確認

学級担任から報告を受け、学年の状況を判断

- ・児童への落下物、飛来物によるケガの確認
 - ・窓ガラス、テレビ、オルガン等の教室施設・備品の転倒・落下による被害
- 非常階段の破損の有無（避難に使用できるかを基準とする）

※非常階段の使用の可否を学年主任間で口頭連絡する

- ◎ A 棟 1 年学年主任 → 2 年学年主任 → 4 年学年主任 → 担任外（ ）
- ◎ B 棟 コスモス主任 → 5 年学年主任 → 担任外（ ）
- ◎ C 棟 3 年学年主任 → 6 年学年主任 → 担任外（ ）

【避難指示の連絡】

非常階段の使用可否の連絡 → 全階使用可能 → 避難指示「避難を開始」

4 年主任 → 2 年主任 → 1 年主任

5 年主任 → コスモス主任

6 年主任 → 3 年主任

【分担】

- 委員長（校長） 放送後、校庭に本部を作る。
- 副委員長（教頭） 通報、非常持ち出し確認をする。
- 指揮（遠藤） 時間を計る。避難の様子を見る。
- 救護（林） 本部に救急薬品を用意する。
- 避難誘導（各担任） 児童を安全に避難させる。
- 非常口（A棟：山崎、B棟：永野、C棟：角田） 児童を安全に避難させる。

自衛消防組織

- ・指揮・・・教頭 消防組織全体を指揮する。
- ・通報、連絡・・・教頭・遠藤 関係機関への連絡
- ・初期消火・・・山崎、加藤、林昌、永野 消火器及び消火栓を利用した消火
定方、萩尾
- ・非常持ち出し・・・教頭、坂内 児童引き渡しカード等
- ・救護・・・林 救急薬品を持って出る。
- ・警備・・・木村、萩尾 家庭科室・裏門
- ・児童係・・・桑島、長島、山田、村岡 児童を安全に避難させる。
マッカーシー、吉川、木元、立沢

救護班

- ・指揮・・・教頭 救護班を指揮する。
- ・担架準備・・・加藤、中島、萩尾 担架による救護者の運搬
- ・負傷者搬送・・・清水、酒井
- ・応急処置・・・林 負傷者の応急処置

【避難位置】 肋木前に南向きに集合（自動車教習所の方向）

モデル事業④（熊谷市立江南中学校の例）

●訓練実施日

平成23年7月13日(水) 10時40分～

事前指導実施

●訓練の特色 ★中学校初

- ① 教科別教室(理科室、音楽室等)での訓練
- ② 地域防災組織の訓練見学

退避行動



音楽室での退避行動

避難行動



ヘルメットを着用による避難行動

訓練の様子



平成23年度 第1回防災訓練実施要項

熊谷市立江南中学校

1. 目的

- (1) 震災等の災害からの適切な避難方法を身につけ、「時・場・礼」をわきまえた心豊かな生徒を育成する。
- (2) 非常の震災や火災に対し、生徒の生命・身体の安全を確保し、迅速かつ整然と避難させるとともに自己の担当や避難経路を確認する。
- (3) 緊急地震速報発令の校内放送を聞いて、身を守る安全な行動がとれるようにする。

2. 日時

平成23年7月7日(木) 14時55分～15時45分

時間	内容	
15時00分～	全校事前指導 体育館	司会 齊藤 DVD視聴 根岸 教諭 地震について 気象庁
15時25分～	学級指導 アンケート	学校生活・登下校時の避難等について 各担任

平成23年7月13日(水) 10時40分～12時20分

時間(予定)	担任外教員の動き	担当	教科担任の動き	生徒の動き
10時40分 ～10時45分	○緊急放送準備 ○タイムキーパー			
～10時50分 「避難訓練」	○地震発生放送 (緊急地震速報) ・緊急地震速報と地震発生の効果音を放送 『訓練・訓練 地震が発生しました。そのまま机の下に避難しなさい。』 「揺れが収まりました。今、避難経路の安全を確認しています。ヘルメット等準備をし避難できる態勢で教室で静かに待機し次の指示を待って下さい。」 ○揺れが落ち着いたからすぐに施設点検・報告	根岸 教頭	○生徒への指示(教科担任) ・ドアを開け、通路の確保 ・机の下に避難 ○給湯室確認 岩本 ○生徒への指示 ・電気等の電源をきる ・外側の窓を閉める 職員室待機(授業なし) 校長・教頭・主幹・事務主任 中島養護・岩本業務・ 根岸生指・山岸安主・ 大嶋1年主・山崎2年主・ 西木3年主・ 柳1の3担・猪野1の2担 高橋2年・寺田3の1担 (揺れが落ち着いた時点) 校長→決断 教頭→放送指示 主幹→教職員指示 3階安全確認 山崎・根岸 (根岸報告)(山崎指示誘導) 2階安全確認 西木・寺田 (寺田報告)(西木指示誘導) 1階安全確認 柳(津ヶ谷)・猪野 (猪野報告)(指示誘導大嶋) 体育館・外避難経路 山岸・高橋(高橋報告)	○待避行動 ・緊急地震速報を聞いたから自らの判断で待避行動(机の下などにもぐる)をとる。 ○安全確保 ・退避状態のまま次の指示を静かに待つ。 ○避難準備 ・ヘルメット、教科書等で頭を保護する。 ・外側の窓を閉める ・上履きのまま ※2時間目休みに各クラスの美化委員は昇降口に濡れ雑巾を10枚程度用意する

	<p>○『校舎西非常階段が使えません。速やかに先生の指示に従い避難しなさい。』 ※繰り返す ○避難誘導</p> <p>別紙</p> <p>※各学年主任は、学年の最後尾から安全確認を行う 担任と入れ替わる場合は替わる</p> <p>昇降口避難経路誘導 山岸 3年駐輪場付近避難誘導 高橋 3階最終点検 根岸 2階最終点検 寺田 1階最終点検津ヶ谷 職員室・事務室・ 校長室 確認 齊藤・新井</p>	<p>教頭</p> <p>大嶋 山崎 西木</p>	<p>救護準備と応急処置 中島 報告受信職員室前（齊藤） 齊藤状況報告→校長・教頭 校長→決断 教頭避難放送指示</p> <p>○避難指示 ・指示に従い校舎外に避難させる。 ・教科担当は、西非常階段以外から安全に留意して避難誘導する。 ○指示誘導責任者 3階山崎2年学年主任 2階西木3年学年主任 1階大嶋学年主任 1-1 理 大澤 理科室 1-2 英 清野 英語室 1-3 社 津ヶ谷 教室 2-1 学 中村 教室 2-2 学 林 教室 2-3 学 岩附 教室 3-1 国 白石 教室 3-2 社 小久保 教室 3-3 音 三友 第2音 特支総 板倉高田岡田竹田 教室</p> <p>○生徒への指示 桜の木に向かって 全校朝会の隊形で整列させる</p> <p>※到着後、人員確認を行う 学年で最初に到着したクラスの担任が、学年の集約を行い、学年主任に報告</p>	<p>○避難開始 ・ヘルメット、教科書等で頭を保護し避難する。 ・校庭の東側にある桜の木の前（ソフト部の方）まで お・・・押さない か・・・駆けない し・・・しゃべらない も・・・戻らない（持たない） ち・・・近づかない</p> <p>○整列 桜の木に向かって 全校朝会の隊形で整列</p>
<p>11時00分～</p>	<p>○整列指示 ・人員確認と報告 各学級→学年主任 →教頭→校長</p>	<p>寺田</p>	<p>○各クラス人員確認後 各学年主任に報告 各学年確認後、教頭に報告</p>	<p>○各クラス男女の学級委員は 人員確認後 担任に報告</p>

<p>11時10分～</p>	<p>○全体指導 司会 ・報告 教頭 ・気象庁熊谷气象台 ・熊谷消防本部江南分署 ・校長指導講評 ・諸連絡</p>	<p>山岸</p>	<p>○号令寺田</p>	<p>○指導講評を静かに聞く。</p> <p>○解散後、昇降口で上履きをよく拭き、各教室に戻る</p>
<p>11時40分～ 12時20分</p>	<p>事後指導（教室）</p>			<p>○美化委員と安全委員は雑巾の片付け ○アンケート</p>
<p>※上記の担当欄に名前のない先生は直接避難場所へ移動してください。</p>				
<p>※雨天時は、体育館に避難</p>				

震災4ヶ月後の一週間を防災週間とし、ヘルメットを教室へ持って行く。



モデル事業⑤（熊谷市立吉見小学校の例）

●訓練実施日

平成23年8月31日(水) 10時35分～

事前指導実施

●訓練の特色

- ① 保護者研修会(地域防災組織参加)、参加者の訓練見学
- ② 引渡し訓練

研修会



訓練前に集まった保護者等への啓発

退避行動



職員室（教職員）の退避行動

訓練の様子



緊急地震速報による避難訓練実施計画

熊谷市立吉見小学校

1 ねらい

- (1) 緊急地震速報についての学習を生かし、正しい緊急避難の方法を身に付ける。
- (2) 地震の性質やそれに伴う災害を考え、安全な行動がとれるよう、態度や習慣を育てる。
- (3) 災害時において冷静に、迅速に的確な行動がとれるようにする。
- (4) 児童を保護者に安全に確実に引き渡す。

2 日時

平成23年8月31日(水) (小雨実施) (雨天時体育館)

10時35分～11時00分 11時00分引き渡し開始 【学行1】

3 想定

- (1) 緊急地震速報が流れた。地震の発生が予想されるので児童自信が自分の身を守る為の行動をとる。
- (2) 数秒後、埼玉県地方に大規模地震発生。地震後火災が発生し校舎外への避難が必要である。

4 事前指導

(1) 事前学習会

- ・DVDの視聴と熊谷気象台の方のお話 7月12日(火) 図工室 (学行0.5)

低学年 9:30～9:50

中学年 9:55～10:15

高学年 10:35～10:55

- ・7月12日(火)4時から緊急地震速報のCDの音源確認

(2) 地震発生時に想定される危険について

- ・落下物(ガラス・蛍光灯)・棚の倒壊・電線の切断・ガス漏れ・水道管破裂・地割れ
- ・火災による被害(ハンカチなどを携帯しておく)
- ・パニック(慌て、驚き等による個人行動の危険性)

(3) 対処の仕方

地震速報 ・教室等の出入り口を開ける。

・緊急地震速報後、直ちに自分のいる場所を考え、頭を保護する。

○教室・・・机の下にもぐる

第1動作 ○特別教室・・・机の下にもぐる。机がない場合には落下物等がない場所で低い姿勢をとる。

○校庭・・・運動や遊びをやめ、校舎や木、建物から離れ校庭中央に集まる。

地震発生

火災発生

避難の放送

第2動作 ・教師の指示を聞き、避難場所に避難する。

・「お・か・し・も」を守り、赤白帽子をかぶって避難する。

避難場所 ・校庭南鉄棒前に集合する。

引き渡し ・保護者に児童を引き渡す。

お さ ない か け ない し や べ ら ない も ど ら ない

(4) 避難場所の確認(参考)

(3階) 第1動作→西階段の内側を→職員玄関へ

(2階) 第1動作→西階段の外側を→西昇降口へ

(1階) 第1動作→職員玄関へ

(校庭) 運動をやめ、第1動作を取る→避難場所へ

5 役割分担

指導配置場所	担当者	内 容
事前通報	教頭	非常警報の操作及びセコム
通報・連絡・児童名簿等の持ち出し	教頭・森山菊	関係方面・消防署への連絡
緊急地震速報・地震放送・避難放送	関根	児童、職員への放送
児童誘導	各担任	各教室
救護・保健室	権田	負傷者の応急処置等
避難場所（南側鉄棒前）	校長	避難した児童への指導
見学保護者の対応	新井幸	校庭に見学に来た保護者の対応
残留児童の確認・昇降口閉め（東・西）	森山・折原	教室等に残っている児童の確認

6 避難場所

道 路

（鉄棒）

なかよし 5年 3年 2年 1年 4年 6年

保護者 児童の後ろに並んでもらう

7 展開

※時刻は目安とする。

本 部	職 員	児 童
1 緊急地震速報 10:40	<ul style="list-style-type: none"> ・担任は帰りの準備をし、帰りの会を済ませておく。 ・出入り口を確保する。 ・児童を落ち着かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・道具をかばんにしまっておく。 ・くつを持つ 1 第1動作 ・落下物に気をつけ、頭を保護する。 ・机の下に身を隠し、机の足を両手で持たせる。
<p>【数秒後、地震発生 効果音】 「訓練、訓練。ただ今埼玉県地方に地震が発生しました。」</p> <p>「（数分後）大きな揺れがおさまりました。担当の先生方は安全確認をお願いします。」</p> <p>2 避難状況を把握し、的確な判断をする。 10:45 「（数分後）給食室から火災が発生しました。西側を使って校庭に避難してください。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難場所に旗を掲げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・担任は教室と教室近くの廊下の安全確認をする。（落下物・亀裂・頭上の安全） ・馬場（西階段3階廊下）江森（2階廊下）岡田（東階段2階まで）森山（1階廊下東階段2階まで）折原（西階段2階まで）安全確認報告校長へ 2 静かに廊下に整列させ、避難させる。 ・静かに放送を聞かせる。 ・引渡しカード（名簿を貼っておく）を持つ。 ・放送された避難経路を使わせる。 ・安全帽子をかぶらせる。（担任も帽子をかぶる） ・各階に児童が残っていないか確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・静かに次の指示を待つ。 2 第2動作に入る。 ・おさない ・かけない（校舎外に出たら速足） ・しゃべらない ・もどらない ・安全帽子をかぶって避難する。 ・かばんをもって避難する。 ・上履きのまま避難する。

<p>3 避難状況の報告を受け、安全の確認をする。 10:50</p>	<p>3 整列させ、人員を確認する。(報告) 担任→学年主任→教頭→校長 報告内容 在籍児童数、出席児童数</p>	<p>3 人員点呼を受ける。 ・静かに腰をおろして指示を待つ。</p>
<p>4 指導講評 10:55 ・気象台の方 ・消防署の方 ・校長先生の話</p>		<p>4 静かに話を聞く。</p>
<p>5 諸連絡 11:05 6 引渡し開始 11:00開始</p>	<p>・引渡しの連絡をする。 ・引取りのチェックをして、児童を引き取ってもらう。 ・引渡しできない児童への対処をする。保護者へ連絡。</p>	<p>・保護者が来るまで静かに待つ。 ・保護者が確認できたら、保護者と一緒に下校する。</p>

8 事後指導

避難方法の評価 ※評価カードは印刷しておく。

下記の項目について自己評価を行い、事後指導に生かす。

- (ア) 協力と真剣さ (イ) 放送を聞く態度 (ウ) 先生の指示を守る
(エ) 行動時の対応 (オ) 災害時の避難路の理解

9 その他

- ・ 荷物、下履きを持って避難する。(下履きは袋の中に入れておく)
- ・ 雨天の場合には体育館に避難する。並び方は朝礼隊形で並ぶ。
- ・ 引渡しに来る保護者に変更がないか確認しておく。
- ・ 担任は出席簿、防災引渡しカード(名簿を入れて)を用意する。
- ・ 校庭に出てからは、担任が先頭児童を確認しながら歩いて(速めに)集合場所へ行く。
- ・ 来校者の控室は図工室

10 用意するもの

- ・ くつカバー(来客用)
- ・ ワイヤレスマイク

11 参観者接待

受付：森山(玄関) 受付名簿

控室：図工室 接待(長谷部)

参観者予定(未定) 動き

10:10 図工室集合

学校長の話 本日の避難訓練について説明

10:30 移動

終了後、図工室にもう一度集合していただき解散

12 保護者の動き

受付：体育館 10:00

緊急地震速報についての学習会 10:05

児童の避難訓練の様子見学 10:40

引渡し開始 11:05

モデル事業⑥（熊谷市立三尻中学校の例）

●訓練実施日(予定)

9月21日(水) 13:50～ ※台風接近のため中止。

事前指導実施

●訓練の特色(予定)

- ① 通常訓練
- ② 教職員による、けが人搬送訓練

事前指導



気象台による事前指導

事前指導



市教委職員による講話

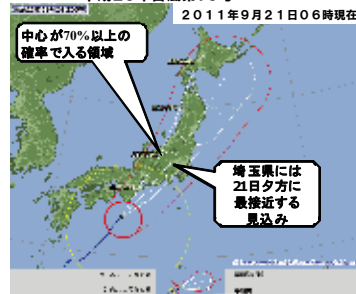
9月21日(水)

訓練当日台風接近により中止

- 1 気象台からの①②③の台風情報をもとにし、注意を呼びかける通知を発出した。(参考資料参照)
- 2 「局地的大雨」の連携についても図っている。

①台風位置情報(現在地と予想)

平成23年台風第15号



21日06時の実況	
台風名	台風第15号
存在地域	群島の南東約1300km
中心位置	北緯 18度 55分 東経 152度 55分
進行方向・速	北東 35km/h (20knt)
中心気圧	955hPa
中心付近の最大風速	55m/s (200knt)
最大瞬間風速	65m/s (235knt)
500hPa以上の気圧高	985hPa (500hPa)
500hPa以上の風速	北東 11.0m/s (40knt)
1000hPa以上の風速	北東 5.0m/s (18knt)
1000hPa以上の気圧高	北東 97.0hPa (970hPa)
21日06時の予想	
台風名	台風第15号
存在地域	群島の南東約1300km
中心位置	北緯 18度 55分 東経 152度 55分
進行方向・速	北東 45km/h (162knt)
中心気圧	950hPa
最大風速	65m/s (235knt)
最大瞬間風速	85m/s (308knt)
500hPa以上の気圧高	985hPa (500hPa)
500hPa以上の風速	北東 11.0m/s (40knt)
1000hPa以上の風速	北東 5.0m/s (18knt)
1000hPa以上の気圧高	北東 97.0hPa (970hPa)

※最新の位置情報等は気象庁HPで確認できます。
URL: <http://www.jma.go.jp/jp/typh/>

②注意・警戒が必要な時間帯(台風が進路予想の中心を通った場合)

警戒を要する 注意を要する

月日	9月21日(水)					9月22日(木)		
	06~09	09~12	12~15	15~18	18~21	21~24	00~03	03~06
日本の時刻	朝	昼前	昼過ぎ	夕方	夜のはじめ頃	夜更	未明	明け方
警報・注意報発令、および台風の接近	発令	発令	発令	発令	発令	発令	発令	発令
大雨(浸水)	発令	発令	発令	発令	発令	発令	発令	発令
大雨(土砂災害)	発令	発令	発令	発令	発令	発令	発令	発令
洪水	発令	発令	発令	発令	発令	発令	発令	発令
風の予想	発令	発令	発令	発令	発令	発令	発令	発令

※台風の進路によっては予想が大きく変わりますので、最新の情報をご利用下さい。
※東北地方太平洋沖地震等に伴い、揺れの大きかった一部の地域には、大雨警報・注意報基準を1引き下ろし「指定基準」を適用しています。
※大雨・洪水の警報・注意報発令は、各自治体によって異なります。
※土壌雨量指標により、雨が止んでも大雨警報・注意報を継続することがあります。

③注意・警戒すべき事項

【予想】

- ・降水のピーク → 台風が県内に接近・通過する21日夕方。
(局地的に、1時間に80mm以上の猛烈な雨)
土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水・はん濫に警戒してください。
また、竜巻などの激しい突風や降ひょうにも注意が必要です。
- ・風の予想
→ 県内が強風域に入るのは21日昼前、暴風域に入るのは21日夕方の見込み。
台風の接近に伴い、風が急激に強まる見込みです。風に対する対策などは早めに行ってください。

※台風の進路によっては、雨や風の強まりや風向が変わりますので、最新の情報をご利用下さい。
以後は、市町村等に発せられる警報・注意報をご利用下さい。

●今後発表する警報・注意報・気象情報等に留意して下さい。

1 目的

- (1) 緊急地震速報発令の校内放送を聞いて、身を守る安全な行動がとれる生徒の育成。
- (2) 地震や火災に対し、避難方法・避難経路など基本的行動を確認すると共に、緊急時における心構えと対処の仕方など、実践力を養う。
- (3) 避難中に負傷者が出たことを想定し、本部への連絡、応急処置および看護、負傷者の避難を実践する。

2 日時

平成23年8月19日(金) 9時10分～ 9時50分

時間	内容	
9:10	全校事前指導 (体育館)	司会 大島 号令 竹内 視聴覚準備・操作 柴崎 校長 ・あいさつ、講師紹介 ・事前学習「地震について」 気象庁熊谷地方气象台 永田俊光さん ・講話「地震がもたらす影響や地震に対する心構え」 熊谷市教育委員会 清水 修指導主事 ・謝辞 校長
10:00	学級指導 感想文の記入	・緊急地震速報を聞いて行動することの大切さについて 各担任 ・感想文の記入

平成23年9月1日(木) 13時15分～14時15分

時間(予定)	全体の流れ	担当	教師の動き	生徒の動き
12:55	○放送機材の準備 ・ハンドマイク ・体育祭用マイク ・延長コード ・タイマー	岡田 竹内 岩本	○放送機材の準備 ・安全委員と共に放送機材を準備する ○雑巾の準備 ・美化委員と共にぬれ雑巾を昇降口に準備する	○放送機材の準備 ・安全委員 ○雑巾の準備 ・美化委員
13:15	○緊急放送準備 ○タイムキーパー用意	柴崎 竹内	○放送室で放送する ○タイマーのスイッチを押す	
13:30	○地震発生放送 (緊急地震速報) ・緊急地震速報と地震発生の効果音を放送 「訓練・訓練。 ただ今、関東地方に大きな地震が発生しました。揺れが収まりましたが、避難経路の確認をしています。 教室で静かに待機し、次の指示を待ちなさい。」	柴崎 教頭	○生徒への指示 ・ドアや窓を開け、通路の確保 ・電気等の電源を切る ・机の下に避難 ・机を両手で持つ ○給湯室確認 (長谷川) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <職員室等待機> 授業なし 校長・教頭・主幹 事務主・養護・業務 田中・坂本・竹内・飯田 柴崎・石川・塚本・町屋 島田・中野・ジェームス </div> <揺れが落ち着いた時点で> 校長...決断 教頭...教職員指示、放送 主幹(大島)...重要書類関係	○待避行動 ・緊急地震速報を聞いたなら自らの判断で待避行動(机の下等にもぐる)をとる。 ○安全確保 ・待避状態のまま次の指示を静かに待つ。

○揺れが落ち着いたら
すぐに施設点検・報告

「訓練・訓練。
先生の指示に従い、
速やかに校庭に避難
しなさい。」
*繰り返す

○避難誘導

教頭

- ①特別棟安全確認（田中）
- ②新館安全確認（飯田）
- ③本館安全確認（塚本）

* 5組側の教科担任から順に、安全状況の伝達。1組側の教科担任が階段付近に出向いた①～③に報告。本館と特別棟は上階からも報告。①～③は避難経路の安全も確認し、教頭に報告。

< 報告内容 >

- ・生徒の状況
- ・教室内や廊下等の破損状況 等

報告受信 職員室前...教頭
状況報告...教頭→校長
校長...決断、本部旗用意
教頭...避難放送、
用具室等の鍵管理
救護準備と応急処置...新井ま
長谷川...事務室、職員室等の
管理
松尾...AEDを本部へ

○避難指示

- ・教科担当は、出席簿を持参し、指示を出す。
- ・安全に留意させ、校舎外に避難させる。

< 指示誘導責任者 >

- 1-1 (国語) 高柳
- 1-2 (英語) 岩本
- 1-3 (体育) 国友
- 1-4 (数学) 橋本
- 1-5 (理科) 中川
- 2-1 (英語) 利根
- 2-2 (国語) 松浦
- 2-3 (保健) 根本
- 2-4 (理科) 岡田
- 2-5 (数学) 遠藤
- 3-1 (社会) 湯澤
- 3-2 (音楽) 川上
- 3-3 (体育) 金澤
- 3-4 (英語) 長島
- 3-5 (国語) 井出
- 7・8組 (生活单元)
鳥海・久保田

*本部 (バスケットコート前)
校長 教頭 大島 養護教諭

○避難準備

- ・教科書等、頭を保護できるものを用意する。
- ・上履きのまま避難の準備をする。

○避難開始

- ・教科書等で頭を保護し、避難する。
- ・校庭の部室前に避難する。

< 避難の仕方 >

- ①学級委員
- ②男女各1列名前の順
- ③体育委員
- ④教科担任

お...押さない
か...駆けない
し...しゃべらない
も...もどらない

13:35	<p>○整列・人員確認 ・各教科担任→学年主任→教頭→校長</p>	教科担任	<p>*誘導 ①3年昇降口(中).....町屋 ②3年昇降口(外).....島田 ③1.2年昇降口(中)...石川 中野 ④1.2年昇降口(外)...坂本 ⑤本館階段.....塚本 ⑥新館階段.....飯田 田中 ⑦体育館(外).....ジェームス ⑧校庭(内外連絡).....柴崎 竹内 *救護係 養護教諭.....竹内 柴崎</p> <p>*全体指揮 全体.....金澤 根本 国友</p> <p>○生徒へ整列、人員点呼の指示 ・校庭部室前に、バスケットコートに向かって、男女各1列名前の順で整列させる。 ○到着後、人員確認を行う。学年で最初に到着した教科担任が学年の集約を行い、学年主任に報告。 ○学年主任は、教頭へ報告。 ○教頭は、全校生徒の状況を把握し、校長と連絡を取り合う。 ○生徒全員が集合したのを確認後、校長に報告。</p>	<p>○整列 ・校庭部室前に、バスケットコートに向かって、男女各1列名前の順で整列する。</p> <p><整列の仕方> ①教科担任 ②安全委員(時間の確認) ③学級委員(点呼→報告) ④男女各1列名前の順 ⑤体育委員</p>				
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td data-bbox="288 1189 587 1572">○負傷者の救助</td> <td data-bbox="587 1189 667 1572">教科担任 養護 柴崎 竹内</td> <td data-bbox="667 1189 1094 1572"> <p>○教科担任が負傷者の確認をし、協力を求める指示を出す。 ・体育委員に本部にいる養護教諭を呼びに行かせる。 ・近くにいる教諭に協力を求める。 ・養護教諭は救護係に指示を出す。 ・救護係はタンカーを持って救助に向かう。</p> </td> <td data-bbox="1094 1189 1455 1572"> <p>○最後尾の体育委員は、本部にいる養護教諭に負傷者の状況を話し、現場に誘導する。 ○最後尾の体育委員は、学年の先生と学級委員に事情を話し、教科担任の代わりをしてもらう。</p> </td> </tr> </table>					○負傷者の救助	教科担任 養護 柴崎 竹内	<p>○教科担任が負傷者の確認をし、協力を求める指示を出す。 ・体育委員に本部にいる養護教諭を呼びに行かせる。 ・近くにいる教諭に協力を求める。 ・養護教諭は救護係に指示を出す。 ・救護係はタンカーを持って救助に向かう。</p>	<p>○最後尾の体育委員は、本部にいる養護教諭に負傷者の状況を話し、現場に誘導する。 ○最後尾の体育委員は、学年の先生と学級委員に事情を話し、教科担任の代わりをしてもらう。</p>
○負傷者の救助	教科担任 養護 柴崎 竹内	<p>○教科担任が負傷者の確認をし、協力を求める指示を出す。 ・体育委員に本部にいる養護教諭を呼びに行かせる。 ・近くにいる教諭に協力を求める。 ・養護教諭は救護係に指示を出す。 ・救護係はタンカーを持って救助に向かう。</p>	<p>○最後尾の体育委員は、本部にいる養護教諭に負傷者の状況を話し、現場に誘導する。 ○最後尾の体育委員は、学年の先生と学級委員に事情を話し、教科担任の代わりをしてもらう。</p>					
13:45	<p>○全体指導 司会 号令 集計 ・集合時間の発表 ・気象庁熊谷气象台 ・熊谷消防本部玉井分署 ・校長指導講評 ・諸連絡</p>	大畠 金澤 根本 両角	○安全委員会と集合時間の集計をする。	<p>○安全委員長、安全副委員長は集合時間の集計をし、委員長が発表する。</p> <p>○指導講評を静かに聞く ○解散後昇降口で上履きをよく拭き、各教室に戻る。</p>				
14:15	○事後指導(教室)	担任	<p>○避難の様子を振り返らせる。 ○自己評価表を記入させる。</p>	<p>○美化委員は雑巾の片付けをする。 ○自己評価表を記入する。</p>				